



セーフティグッズフェア

みる・しる・つなぐ展



を開催します

東京都は、安全・安心に配慮した商品のPRや普及を目的に、特定非営利活動法人キッズデザイン協議会との共催により「セーフティグッズフェア」を開催します。

今回のフェアは初のオンライン開催！開催期間も1か月間ありますので、ご都合にあわせてご参加いただけます。

子供や子育て家庭が日常生活でさまざまな商品を利用する中で、子供が転落、転倒、誤飲、指はさみなどの事故に遭う事例が、毎年報告されています。子供の事故防止の視点で開発された安全・安心な商品を展示するほか、親子向けのワークショップ、安全・安心に配慮した商品の開発現場訪問ツアーなど様々なプログラムをご用意しています。

親子で楽しく安全を学ぶ「セーフティグッズフェア」にぜひご参加ください。

1 主催 東京都、特定非営利活動法人キッズデザイン協議会

2 開催期間 令和4年2月17日（木）～3月17日（木）

3 フェアの概要（詳細は裏面をご覧ください）

✓ 仮想の展示場空間を自由に移動！

初めてのオンライン開催！パソコン、スマホ、タブレットなどからご都合にあわせて、仮想の展示場にアクセスして、お楽しみください。

✓ 安全・安心を守る商品が大集合！

子供の安全・安心を守る商品60点が大集合！事故から守るものから暮らしをもっと便利にするものまで多様な商品を展示します。

✓ 開発現場訪問ツアー

今年度、東京都知事賞を受賞した企業の開発現場に潜入しました。開発秘話のほか商品選びのポイントなどをご紹介します。

✓ ワークショップにチャレンジ！

おうちにあるものだけでできるオンラインワークショップ。特別なスライムで不思議な体験を試みよう！

オンライン会場イメージ



★ご来場はこちらから（2月17日（木）公開開始）

「セーフティグッズフェア みる・しる・つなぐ展」会場

<https://www.safetygoodsfair.com>



【問合せ先】生活文化局消費生活部生活安全課

電話：03-5388-3055(直通) 29-851(内線)

キッズデザイン賞 展示紹介コーナー

子どもの安全・安心を守るグッズが大集合！

子どもの安全・安心を考慮してデザイン開発された
60点の「キッズデザイン賞」受賞作品を展示・紹介します。



【東京都知事賞】
キャリブリー チェアベルト
ショルダー&メッシュ
日本エイテックス株式会社

大人用の椅子に子どもをひとりで座らせ
ておくことができる補助ベルト。肩ベルト
付きで立ち上がりやすき抜けを防ぎ、安
全です。椅子との接地面に滑り止め生
地を使用したのでずれを防止。オールメ
ッシュなので通気性が良く、洗濯しても
すぐに乾くので清潔に保てます。



【内閣総理大臣賞】
QuickFree®
YKK 株式会社

ファスナーのスライダー部品を改良する事
で、ファスナーの開製品の操作がしやす
くなりました。操作性の向上によって子
どもが一人で衣服を着脱する事を助け、
親も着せやすくなります。また、左右に一定
の力が加わるとスライダーが外れてファ
スナーが開く解放機能を備えています。

★都内の中小企業を対象とした「東京都 審査料補助制度」によりキッズデザイン賞を受賞した作品も紹介します。

キッズデザイン賞：2007年からキッズデザイン協議会が実施している顕彰制度。「子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン」、「子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン」、「子どもたちを産み育てやすいデザイン」の3つの視点で評価。今年で16回目の開催となり、累計で応募数は5,785点、受賞数は3,439点となり注目されています。

開発現場 訪問ツアー

企業・団体の皆さま向け(消費者の皆さまも歓迎！)

わが社のアイデアを紹介します 開発現場訪問ツアー

キッズデザイン賞受賞企業の開発環境を訪問して、企画・開発
や製造に携わる関係者から、商品の安全・安心に対する取り
組み方や開発時の苦労及び開発手法などについて分かりや
すくご紹介いただきます。

◆取材協力 日本エイテックス株式会社



ワークショップ

消費者の皆さま、お子さま向け

やってみよう・つくってみよう オンラインワークショップ 片栗粉でスライムをつくってあそぼう！

今回のワークショップはお家にある物を使って、特別なス
ライムを作ります。不思議な触り心地の片栗粉から作るス
ライム。

不思議な現象が体験できるかもしれません。

◆推奨年齢 小学校1年生(6才)以上

◆協 力 パナソニック クリエイティブミュージアム「AkeruE」



情報コーナー

消費者、企業・団体の皆さま向け

東京都も取り組んでいます 東京都の商品安全対策

子どもの事故を防止するため、事故に関する情報収集を積
極的に行うとともに、商品の安全性調査や日常生活での潜
在的な危険性を掘り起こす調査などを行い、保護者等への
注意喚起や事業者への商品改善等の働きかけを行って
います。

これらの取組を動画で分かりやすく紹介いたします。

